

吉田学術教育振興会
令和7年度 特別助成金活動報告書

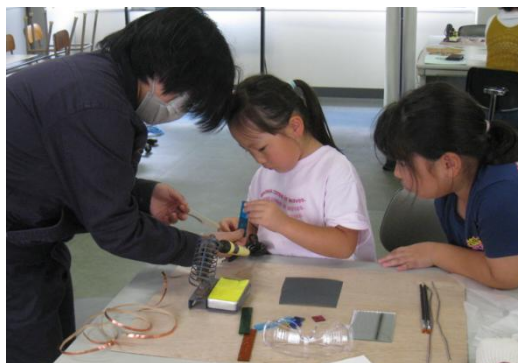
報告日 令和7年10月10日

公益財団法人 吉田学術教育振興会

理事長 山倉 修一 殿

助成事業の 名称	夏休みものづくり教室
報告者	福岡県立浮羽工業高等学校 隈 政博 (連絡先 TEL : 0943-72-3111)
対象者 (参加人数)	60名
日程と活動状況	8月5日(火)実施 カードスタンドの製作、電子オルゴールの製作、スタンドグラスで手鏡製作を実施しました。予算の関係で近隣の小学校(うきは市、久留米市東部)に案内を出したところ70名の応募があり、抽選で60名の児童とその保護者の方に参加していただきました。高校生が児童一人一人に付いて丁寧に作り方を説明し、難しい箇所は一緒になって製作を行いました。カードスタンドの製作では、事前に木材を加工して部品を準備しておき、本番では、部品を組み立てて仕上げを行いました。電子オルゴールの製作では、光センサーを使い簡易基盤に電子部品を取り付ける作業を行いました。スタンドグラス手鏡では、ガラスを好きな大きさにカットしてはんだごてを使いはんだを溶かし接続しました。少し難しい内容の作業ではありましたが、参加していた児童は楽しそうに製作に取り組んでいるようでした。
申請当初の 目的達成状況	ものづくり教室を通じ、ものづくりの楽しさや作品が完成した時の感動を参加されていた方は実感されたのではないかと思います。また、地域の方に工業高校の魅力を発信できたことは本当に良かったと思います。
教育的または社会的 活用の効果につ いて所見等	地域の子供たちは、夏休みのものづくり教室に参加し、ものづくりの楽しさや大切さ、感動を知ってもらい工業高校に興味を持っていただけたと思います。また、生徒たちもものづくりの重要性を再認識でき工業人としての育成に繋げることができました。

活動状況の写真等（当日の様子など）



今後の活動見通し・課題

以前は県からの予算措置で、夏休みものづくり教室を実施してきましたが、本年度は、予算措置がなくなり実施することが難しくなりました。今回、特別助成金をいただき運営することができ大変感謝しております。地域の子供たちや保護者の中には、浮羽工業高校のものづくり教室を楽しみにしている方も多く、できれば来年以降も継続していきたいと思っています。実施に向けての予算措置が今後の課題だと思っています。

助成金の会計報告

経費区分	合計金額(円)	支出額(円)		内 訳
		助成利用額	自己負担額	
謝金				
旅費 交通費				
会議費				
通信 運搬費				
印刷 製本費				
委託費				
賃金				
消耗品	335,035	330,000	5,035	ものづくり教室材料費 スタンドグラス、フラックス ブレットボード、3端子メロディ IC 圧電スピーカー、木工用ボンド 等
その他				
合 計	335,035	330,000	5,035	

* 主催者の飲食代は助成の対象外と致します。

* 助成金の用途については、原則として領収書（写し）の添付を必要とします。

* 経費区分の科目に該当するものがなければ、変更して頂いて結構です。